

二
挨拶

い　う　い　き

PTA会長 桑原桂司

生徒保護者又は教職員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解・ご協力賜り厚くお礼申し上げます。今年度PTA会長を務めさせて頂いております桑原です。

校舎移転後一年経過し、生徒・教職員の方々も移転校舎の環境に慣れ、本年度入学された一年生も中学校生活に慣れてきたと存じます。

スは未だ予断を許さない状況が続いておりますが、学校行事については、六月の運動会、その後の各部活動の中体連・吹奏楽コンクール、また中学校生活最大の行事でもある修学旅行も予定通り無事に開催されました。今後も学校祭・学年レク等、様々な行事が計画されており予定通り開催されることを期待致しておりますが、現段階において生徒たちの伸びを止めない事と安全性の両面で状況に合わせた学校運営に対応頂き、辻校長先生をはじめ教職員の皆様には感謝申し上げます。

最後になりますが、PTA活動においては保護者に皆様のご協力を賜り、微力ながら精一杯務めさせた学校運営に対応頂き、辻校長先生をはじめ教職員の皆様には感謝申し上げます。

滝上中学校長 辻 正樹

半期を振り返って

この四月、北見市より赴任しました。どうぞよろしくお願ひいたします。保護者の皆様には、日頃の感染症対策をはじめ、本校のPTA活動等の教育活動の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

滝上中學校長 辻 正樹

僕ら三年A組はみんな仲が良く、一人一人が個性豊かで元気なクラスです。運動会の学年種目では持ち前の団結力を發揮し、クラスが一丸となつて目標としていた三冠を達成することができました。また三年生となり、他学年をまとめる立場になつたことで、最高学年としての自覚が芽生えリーダーとして引っ張ることができてきていると思います。

その一方で忘れ物が多い、節度をわきまえることができないなどの課題もありますが、学級通信のタイトルにある「凡事徹底」に向けて、「これくらいでいいや」と思うのではなく小さな積み重ねが大きな結果につながると信じてより良い学級にしていきたいです。耳の痛い話ですが、受検がせまつてきてるので計画的に悔いのないように学習に取り組みましょう。こういう時こそ学級で一致団結するぞ!

学級紹介

三年A組 高山 創多



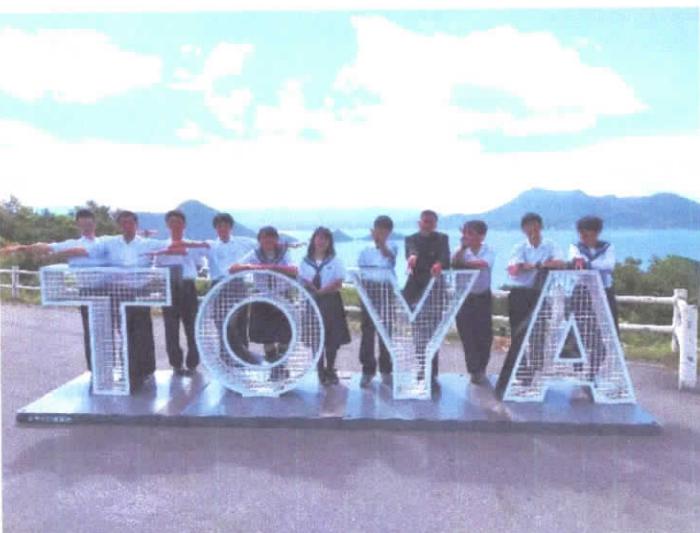
二年生の紹介

二年△組 三島 月絵

私達の学級の良い所は、自然と助け合いができる

所です。運動会の時や、水泳のテストの時に声かけ、拍手、応援を自分からできるようになつたことが二年生の成長したところだと思います。ですが、私たちには課題があります。それは、「忘れ物」です。忘れ物をなくすためにはメモをとることを意識すれば改善できるのでこれから意識して過ごすことを目標にして生活していきます。

学校祭でも助け合いをして、良いものをつくつていくことと、三年生の姿を見て来年に生かせるように学んでいきたいです。学校祭を通して他学年との交流を深め、三年生のように場を盛り上げられるようになります。



さて 今年度も半期が経過するとしています。この間、保護者の皆様には、運動会や部活動など多くのご協力をいただき、心より感謝しております。行事や学校生活の中で、生徒たちは生き生きと活動し、成長してきました。これも生徒たちと一緒に活動し、指導や助言を行いながらできた教職員との信頼関係や、陰ながら子どもたちを支えていたいた皆様の愛情があつたからこそだと確信しています。今後は学校祭に向けての取組が本格的に始まります。生徒たちが仲間と協力し、創造しながら一生懸命頑張る姿を運動会同様見守り、励ましながら成功に導いていきます。今後とも保護者・地域の皆様のご支援とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

野 球

◇第39回全日本少年軟式野球紋別支部大会(5月3日)

決勝 滝興西雄 4 対 2 紋別潮見

◇第38回ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会(5月7日)

決勝 滝興西雄 1 対 6 紋別潮見

◇第33回藤共旗争奪中学校野球大会(6月18日)

決勝 滝興西雄 8 対 5 紋別潮見

◇第73回オホーツク中学校軟式野球大会第1ステージ(7月10日)

決勝 滝興西雄 7 対 0 湧別・芭露

◇第73回オホーツク中学校軟式野球大会第2ステージ(7月16日)

1回戦 滝興西雄 0 対 8 訓子府

◎今後の予定

第14回全日本少年秋季軟式野球大会北海道予選

第46回ロータリー旗争奪秋季中学校野球大会



サッカー

◇令和4年度OKFAカブスリーグU-15遠紋リーグ

第1節 対 遠軽	0-6
第2節 対 紋別	4-2
第3節 対 紋別潮見	8-4
第4節 対 佐呂間	18-1
第5節 対 遠軽南・上湧別	9-2
第6節 対 遠軽南・上湧別	5-2
第7節 対 紋別潮見	6-1
第8節 対 遠軽	0-5
第9節 対 佐呂間	8-0



卓 球

◇令和4年度オホーツク中学校卓球大会(7月2日)

(男子個人戦)

丸 祐貴也 1回戦 0-3 興部中

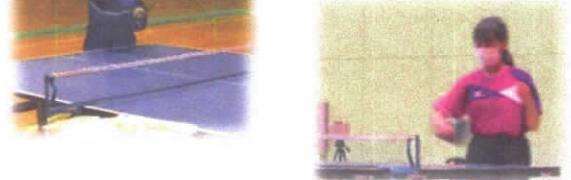
(女子個人戦)

並木 真心 1回戦 0-3 網走第五中

森本 しおり 1回戦 0-3 網走第三中

村田 愛依 1回戦 0-3 高栄中

五十嵐 理好 1回戦 0-3 光西中



吹 奏 楽

◇アーリーサマーコンサート(6月18日) 開催

◇第64回北海道吹奏楽コンクール北見地区大会(7月30日)

中学校C編成の部 銀賞



◎今後の予定

定期演奏会(12月予定)

北見地区ソロ・アンサンブルコンテスト(1月予定)



部活動の記録

部活動の三年間とこれから～努力・感謝・全力野球～

まずは一勝

月村 吟

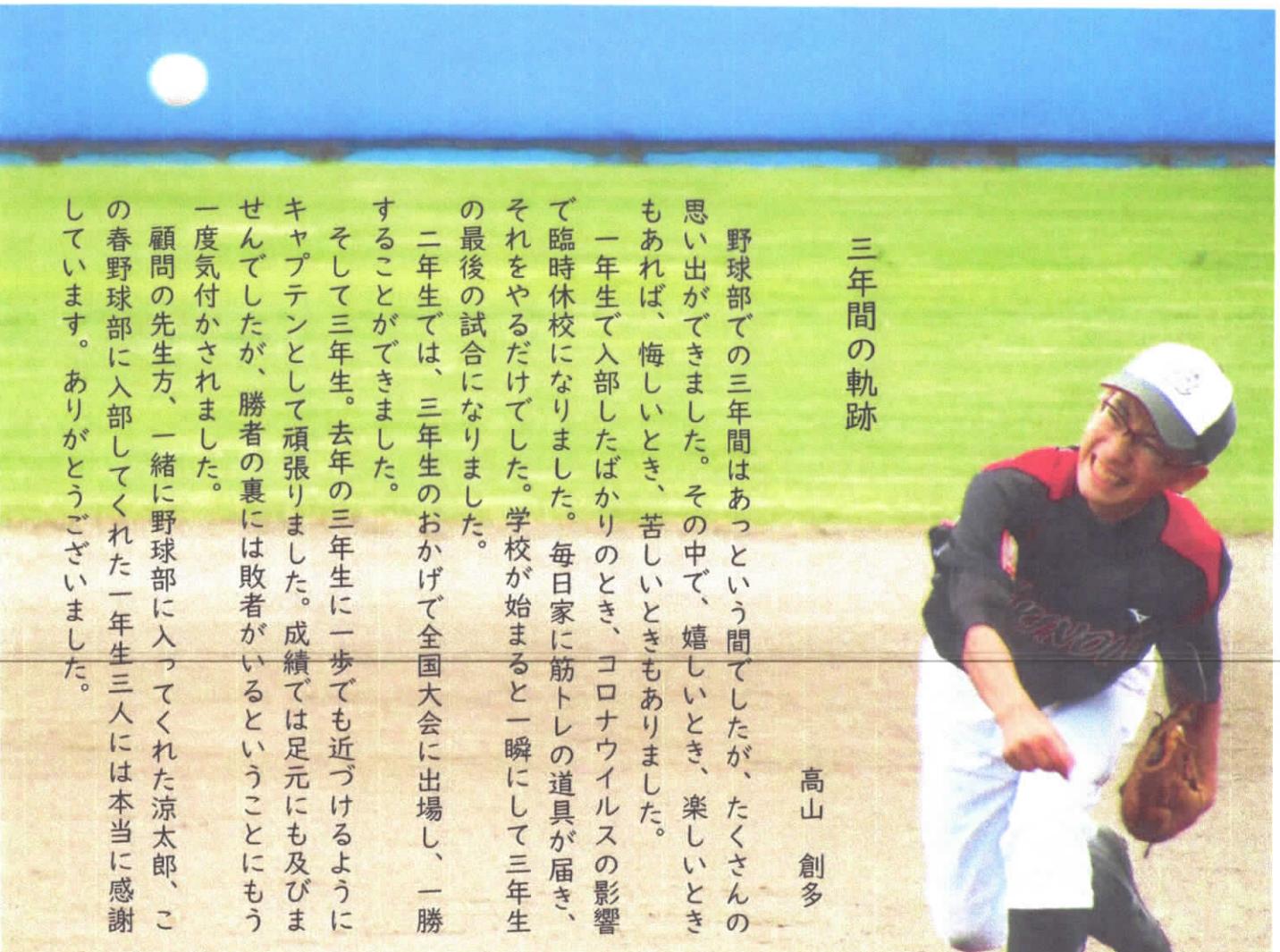


私は夏の大会からこの秋の大会に向けて、夏休み中は途中から練習には参加しませんでしたが、夏休みからは気合いを入れてがんばつております。私はこの秋の大会ではまずは一勝を目標に取り組もうと思います。そのために全力で声を出し、全力でチームワークを築いていこうと思います。

三年間の軌跡

高山 創多

新チームでの目標
中村 彩人



野球部での三年間はあつという間でしたが、たくさん思い出ができました。その中で、嬉しいとき、楽しいときもあれば、悔しいとき、苦しいときもありました。

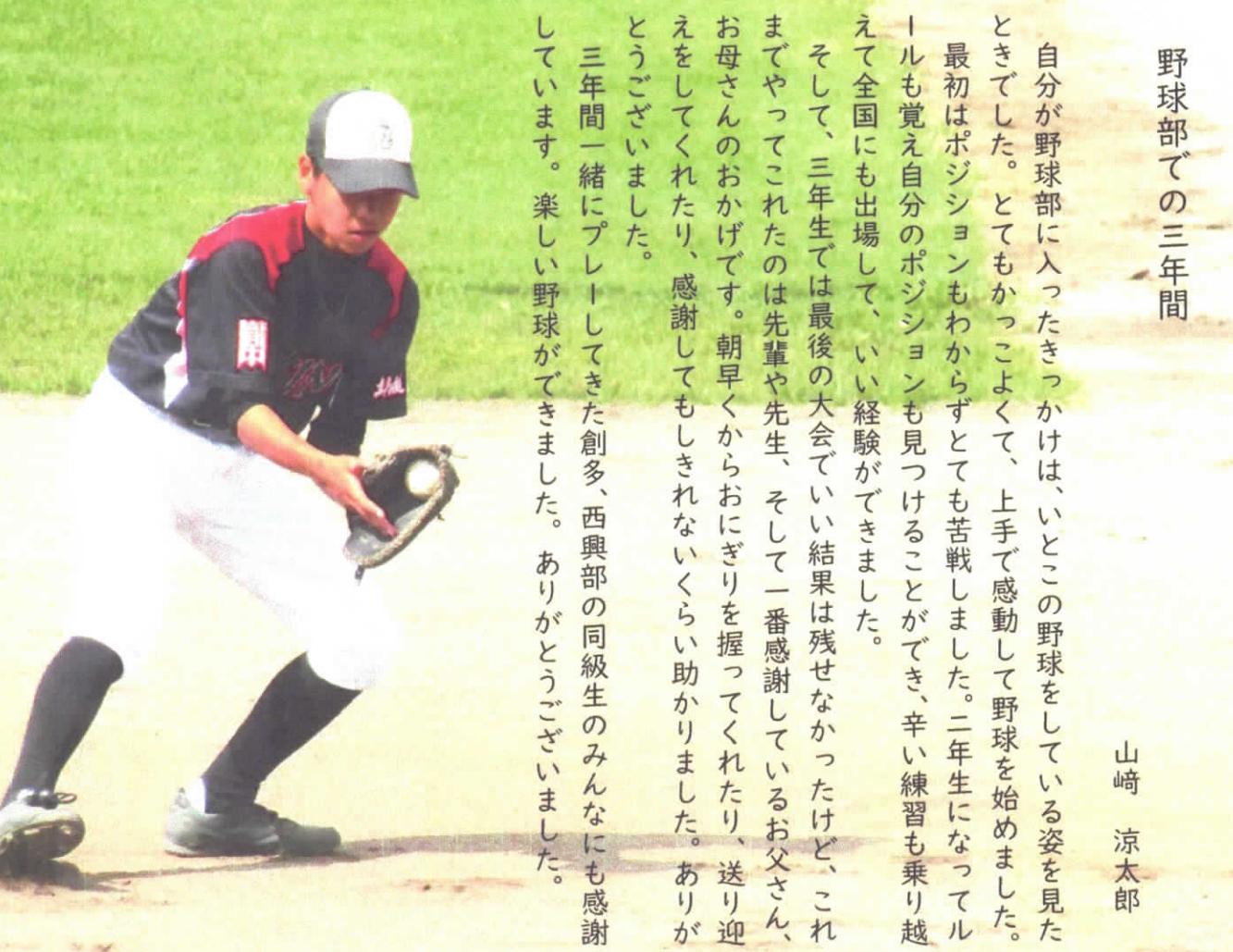
一年生で入部したばかりのとき、コロナウイルスの影響で臨時休校になりました。毎日家に筋トレの道具が届き、それをやるだけでした。学校が始まる瞬にして三年生の最後の試合になりました。

二年生では、三年生のおかげで全国大会に出場し、一勝することができました。

そして三年生。去年の三年生に一步でも近づけるようにキャプテンとして頑張りました。成績では足元にも及びませんでしたが、勝者の裏には敗者がいるということにも一度気付かされました。

顧問の先生方、一緒に野球部に入ってくれた涼太郎、この春野球部に入部してくれた一年生三人には本当に感謝しています。ありがとうございました。

新チームへの意気込み
長屋 況月



野球部での三年間

山崎 涼太郎

自分が野球部に入ったきっかけは、いとこの野球をしている姿を見たときでした。とてもかつこよくて、上手で感動して野球を始めました。最初はポジションもわからずとても苦戦しました。二年生になつてルールも覚え自分のポジションも見つけることができ、辛い練習も乗り越えて全国にも出場して、いい経験ができました。

そして、三年生では最後の大会でいい結果は残せなかつたけど、これまでやつてこれたのは先輩や先生、そして一番感謝しているお父さん、お母さんのおかげです。朝早くからおにぎりを握ってくれたり、送り迎えをしてくれたり、感謝してもしきれないくらい助かりました。ありがとうございました。

三年間一緒にプレーしてきた創多、西興部の同級生のみんなにも感謝しています。楽しい野球ができました。ありがとうございました。

「宝探し」だつたかな

高山 修一

父は楽しかった。あなたは、どうだった？ 二年四ヶ月、およそ八百日。父と母は、あなたの直向的な努力とプレーを一番近くで応援し、随分と一喜一憂したものです。その時間は、私達にとって大切な宝物。あります。

山崎涼太郎君に感謝。ずっと一人でやつてきたあなたに同級生の仲間ができた。彼の存在はどれ程あなたを心強くしただろう。全国大会に出場した去年のチームより、なかなか勝てずに悔しい思いをしたはずの、今年のチームの野球の方が楽しいと、あなたは言つた。その言葉に父の心は動いた。「自覚」と「責任」なんだなあ。そして、あなたを支えてくれる仲間が沢山いるんだと嬉しかつた。きっとチームの誰かにとつて、あなたもまた、そんな存在だつたのだ。それは「信頼」。あなたが掴んだ宝物。流した汗と悔しさの意味がそこにある。部活動をとおして、あなたは学んだ。逞しくなつた。

「精一杯の汗と涙 流した数だけきっと君が生きていく強さに 変わる時が来るから 時を越えて 羽ばたいて・・・合唱曲「時を越えて」の一節です。 部活お疲れさま。次の「羽ばたき」も応援します。

顧問の先生方をはじめ野球部を支え、見守り、指導して頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。

生徒会活動

「運動会を振り返って」



運動会実行委員長 安藤 吏

「運動会、生徒会活動を振り返って」

生徒会長 村井 ひなた

私は、今年度の運動会が三年間で一番、達成感や楽しさを感じました。なぜなら、三年生が中心となって、白組や紅組を引っ張り、それぞれの組で話し合い、試行錯誤しながら、全校生徒が本気で勝利を掴もうとしていたからだと思います。その結果、点差が僅差となり、ハラハラドキドキも味わえました。

生徒会では、行事の運営やブルタブ回収などを行ってきました。準備では、どのように進めたらスムーズに進むか、どのように呼びかけたらブルタブは集まるかなどの意見を出し合いました。その話し合いの結果がブルタブ回収の目標である二十キロを達成して、やりがいを感じました。また、みなさんのご協力にも感謝しています。

「運動会や生徒会の一年間を振り返って」

生徒会副会長 山崎 涼太郎

最高学年での初めての運動会で自分たち三年生がみんなを引っ張つて生きながらも、より良い運動会を作るために沢山のことを考えとても大変でしたが最後の年に勝てて本当に良かったです。

自分は人前に立つことも苦手でした。生徒会に入つて人前に立つことが増えて、最初は苦痛で「早く辞めたい」と思っていました。でもそれは最初だけで、今は人前に立つことに少し慣れました。それは一つの成長だと思います。自分は生徒会に入つて成長したこともたくさんあるし、人前に立つことも、もっとよい学校を作ることも、いろいろなことを生徒会で学ぶことが出来ました。これから生徒会は下級生にたくし、しっかりと高校に行けるように頑張つていこうと思います。一年間ありがとうございました。

「一年間を振り返って」

生徒会書記 五十嵐 理好

まず私が生徒会に入った理由は、人前に立つこと、自分の意見を考えることに慣れるためです。だけど初めは、緊張して話す時も頭が真っ白になつたり、早口になつたりしましたが、運動会では、開閉会式の閉会宣言をやりました。閉会宣言を言う時は、生徒の顔を見てゆっくり言つことができました。

今年の運動会のスローガン「絆」をより深めるためと、他学年との交流を図るために学年混合で対抗イベントを行いました。

これから始まる学校祭では、運動会・対抗イベントで深めた「絆」を大切にしたいと思いました。そしてオーブニングでは、自分の考えを伝えたり、協力したりしてやりたいと思います。

「一年間をふりかえって」



生徒会書記 山田 真希奈

私は生徒会で初めて人の前に立つ仕事をやりました。初めは恥ずかしくて、話が止まってしまつたりしてしまいましたが、慣れてきたらあいさつなどもできるようになります。

運動会では成績発表をし、緊張したけど止まらず話すことができてよかったです。

そして、今後はすら聞きやすくなりたいです。

最近では運動会の目標の「絆」をより深め学校祭へ生かすため、生徒会の企画で運動会でやった「3人はブリキキュア・ボーラー・キュア・ハート」を運動会とはちがうチームで開催しました。会長が進行をしてくれて、生徒のみんなもり上がついたので、私も会長みたいに面白く、雰囲気をよくできるようになりたいと思いました。なので今後は、面白くて、場の雰囲気を変えられるようにしていくのが目標です。

安全点検報告

◆ 神社の下の交差点

…神社側から交差点を渡ろうとしたら、左側カーブだから少し怖いです。

◆ 幸町 広瀬鉄工前変更交差点

…上渚滑原野滝上線(996)と土別滝上線(61)が交差する場所です。車がスピードを出しているからです。

◆ 本流バスの「18線」停車付近の国道

降雪の都度、冬期歩道の確保をしていただけないと安心です。

編集後記

誌面作成にあたり、ご協力頂いた皆様には、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。少しずつ規制が緩くなったりもするなかで、まだまだ不安が続く生活ですが、広報誌『いぶき』を通して、子どもたち一人ひとりの成長、頑張る姿や想い、輝きをお伝えできたら、幸いです。

今後とも、PTA活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

